手話コミュニケーション入門 II

科目ナンバリング　SNE-102
選択　　2単位

松本　弘

1. 授業の概要（ねらい）

手話は聴覚障害者にとっての言語であり、また魅力的で強力なコミュニケーション手段である。手話を学んでいくことは聴覚障害者との会話を通した交流をするだけにとどまらず、自分自身の表現力、コミュニケーション能力を向上させていくと感じている人は多い。

この授業では手話コミュニケーション入門Ｉを学んだ学生に、継続して手話を学び日常で使われる手話表現を確実なものにし、取り上げる会話の内容を増やすようにする。

春季で行った手話コミュニケーション入門Ｉの復習とその技能に基づき、家族や近親者、友人との間での生活や体験を手話で表現できるように、テキストのビデオ教材や他の動画を含めた各資料を用いて表現が確実に身に付き手話技能のレベルアップを図れるようにする。

加えて授業の中では実技に関する事柄以外のものとして、入門Ｉで取り上げられなかった手話の関連知識や、実際に使われている教育現場での手話の役割、活用等を学ぶ。また聴覚障害者に関する社会的、歴史的な内容を理解し、聴覚障害者との共生意識を高め、本学にも在籍する聴覚障害学生の支援に係わるような姿勢を持てるようにする。

2. 授業の到達目標

①日常で交わされる簡単な会話を聴覚障害者と手話で行える技術を習得でき、活用できるようになる。
②聴覚障害者の社会的、歴史的立場について、その基本的な部分を理解し共生社会に参加する姿勢が身に付く。
③聴覚障害学生への支援に参加しようとする姿勢を得る。

3. 成績評価の方法および基準

学習内容の評価配分は手話技能70%、障害理解30%とし、評価する内容、方法として講義ごとの課題や単元の区切りに行うミニテスト30%、期末テスト70%の割合で評価をする。

課題提出が不足する学生、出席10回未満の学生は単位認定しない。やむを得ない事情以外は遅刻、早退を認めない（出席に数えない。）

4. 教科書・参考文献

教科書
全日本ろうあ連盟　『手話を学ぼう、手話で話そう』（全国手話研修センター）　全日本ろうあ連盟出版局
手話コミュニケーションＩで使用したものと同じで前半部の未学習部分を使用する。
参考文献
全日本ろうあ連盟　みんなの手話学習辞典　全日本ろうあ連盟出版局

5. 準備学修の内容

①毎回事前に示される内容をテキスト、テキストに付属するDVDを視聴して把握しておくこと。
②授業で習った手話表現を再現できるように、配布資料に合わせてDVDを視聴して復習すること。
③テレビでの手話ニュース、手話の学習番組、聴覚障害関連の番組の積極的な視聴をすること。

6. その他履修上の注意事項

この授業は手話コミュニケーションＩを学習したことを前提にしている。復習もするが、会話の初歩はＩで学んでいることとして、授業を進める。テキストも手話コミュニケーション入門Ｉで使用したものを継続して前半の内容を使用する。このテキストはDVDが付属するので前半部の復習と共に後半の基礎編（応用）も参考にして自発的に学習を進めてほしい。

聴覚障害学生との交流が一番この授業の目標到達に近づくことになるので、その機会を積極的に持てるように心がけ、また大学のノートテイク講習会等への参加も試みてほしい。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーションと指文字、指数詞の復習。毎回の実技教材はテキストの内容のDVDビデオや新規にその内容のバリエーションの映像等を紹介し、進める。
【第2回】　自己紹介1（名前、家族、趣味）　＜講義＞聴覚障害学生への支援①
【第3回】　自己紹介2（数を使った紹介、仕事、住所）　＜講義＞聴覚障害教育の歴史
【第4回】　自己紹介3（総合、まとめ）　＜講義＞手話に関するマナーと諸知識
【第5回】　一日のことを話す。（時間の表し方、生活動作等）＜講義＞学校現場における手話の活用①乳幼児教育相談と幼稚部
【第6回】　一週間、一カ月のことを話す。（時の経過等）　＜講義＞学校現場における手話の活用②小学部、重複学級
【第7回】　LMSによる授業。一年のことを話す。（季節、行事等）＜講義＞学校現場における手話の活用③中学部高等部段階および社会人編
【第8回】　パーティ等の計画（計画を作る。疑問詞、質問等）＜講義＞学校現場における手話の活用④ホームルーム、教科での使用
【第9回】　旅行のことを話す。（簡単な質問と答える会話の発展）＜講義＞学校現場における手話の活用⑤教室内での手話、指示表現
【第10回】　病院のことを話す。（いろいろな体の状況を伝える。）＜講義＞5級レベルの手話単語のまとめ①
【第11回】　あしたの予定は？／食事に行こう。＜誘う、誘われる＞（強弱による気持ちの表し方、疑問詞）＜講義＞5級レベルの手話単語のまとめ②
【第12回】　学校や保育所のことを尋ねる。（様子を尋ねる、知らせる）　＜講義＞5級レベルの手話単語のまとめ③
【第13回】　職場のことを話しましょう。（職場での会話の例を覚える、教育場面での手話の使用例）＜講義＞手話言語法、手話言語条例、障害者差別解消法について
【第14回】　総合演習（入門編手話表現のまとめと今後の手話の学び方、表情豊かに、具体的に表現するために）＜講義＞聴覚障害学生への支援②
【第15回】　最終試験とまとめ